

平成18年9月16日から18日、 秋雨前線と台風第13号による大雨

広島県南部（広島市佐伯区湯来町）現地調査報告



水内川に架かる橋の流失（佐伯区湯来町麦谷地区）

平成18年9月25日

広島地方気象台

(注)この資料は、後日内容の一部修正や追加をすることがあります。

1 はじめに

秋雨前線と台風第 13 号に伴う大雨により、広島県では広島市（北部中心）と芸北を中心に、土砂災害や洪水災害が多発した。25 日 10 時 00 分現在、広島県危機管理局調べによると、広島県内では、死者 1 名、行方不明者 1 名（ともに広島市）、負傷者 7 名の人的被害や、全壊 4 棟（安芸高田市）、半壊 9 棟、一部損壊 45 棟、床上浸水 32 棟、床下浸水 379 棟などの住家被害が発生した。

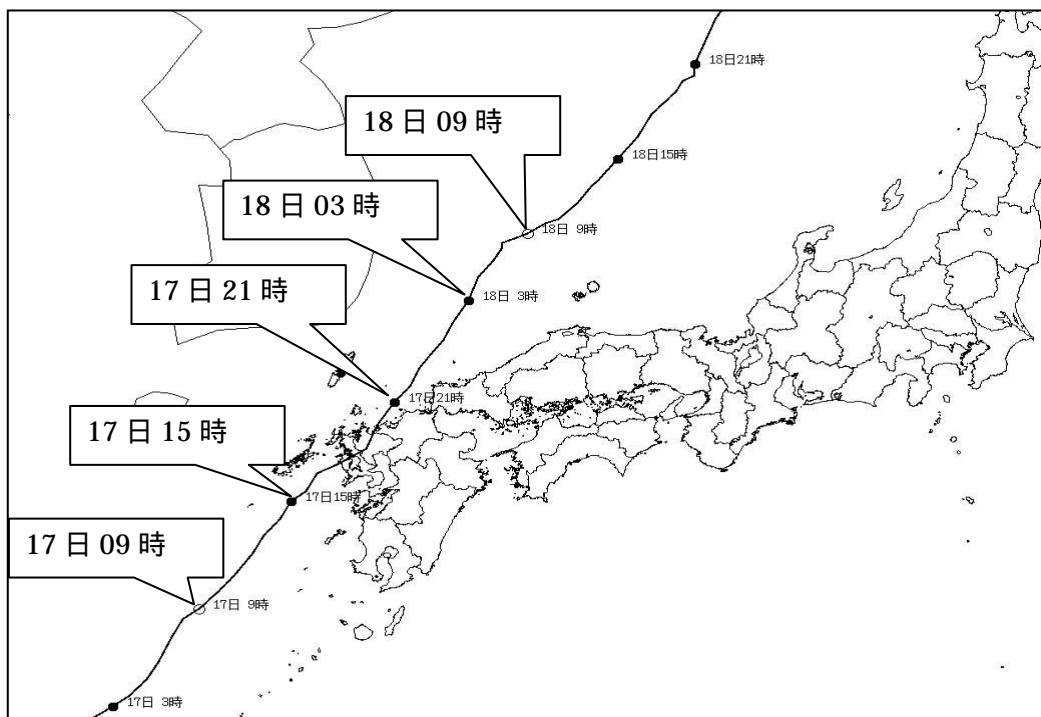
このことから、広島地方気象台では、災害の比較的大きかった地域のうち、広島市佐伯区湯来町で発生した土石流と河川護岸崩壊による国道 433 号線の崩落災害について、被害の状況と気象要因の把握及び今後の防災気象情報のさらなる改善を目的として、9 月 19 日に現地調査を実施した。

2 気象概況

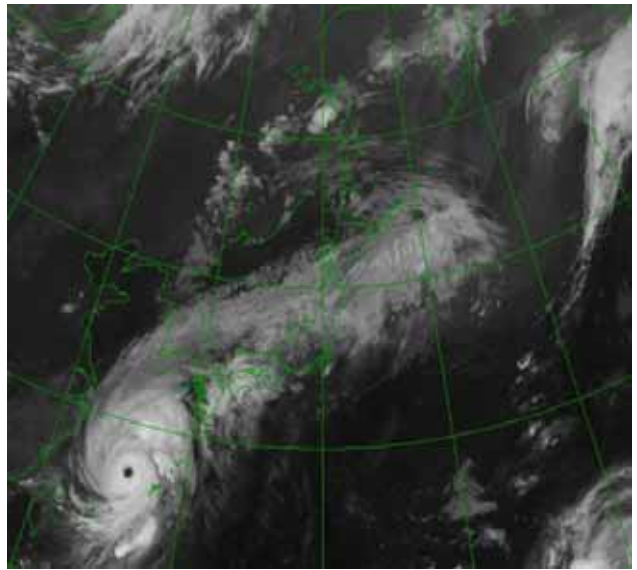
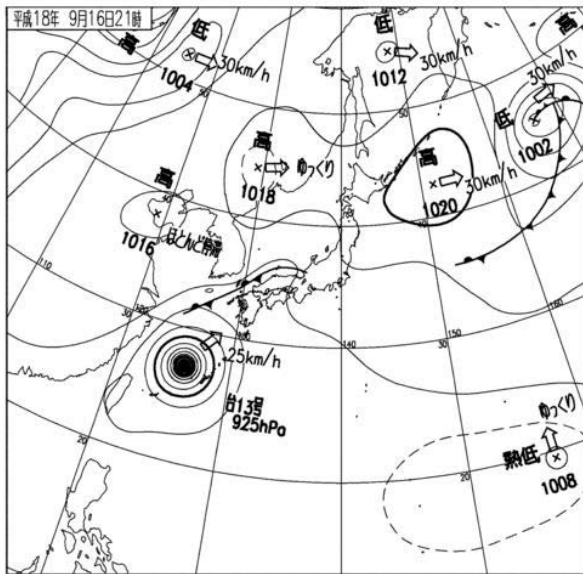
9 月 16 日は、山陰沿岸に秋雨前線が停滞していた。この前線に向かって、東シナ海の非常に強い台風第 13 号から湿った空気が流れ込み、広島県は大気の状態が非常に不安定となった。このため、雨雲が発達し、16 日 17 時頃から 17 日午前 3 時頃にかけて、芸北および広島市の北部を中心に局地的に非常に激しい雨が降った。

その後、台風第 13 号は、東シナ海を北東に進み、17 日 18 時過ぎに長崎県佐世保市付近に上陸した後、17 日夜から 18 日にかけて、山口県の西海上を経て日本海へ進んだ。

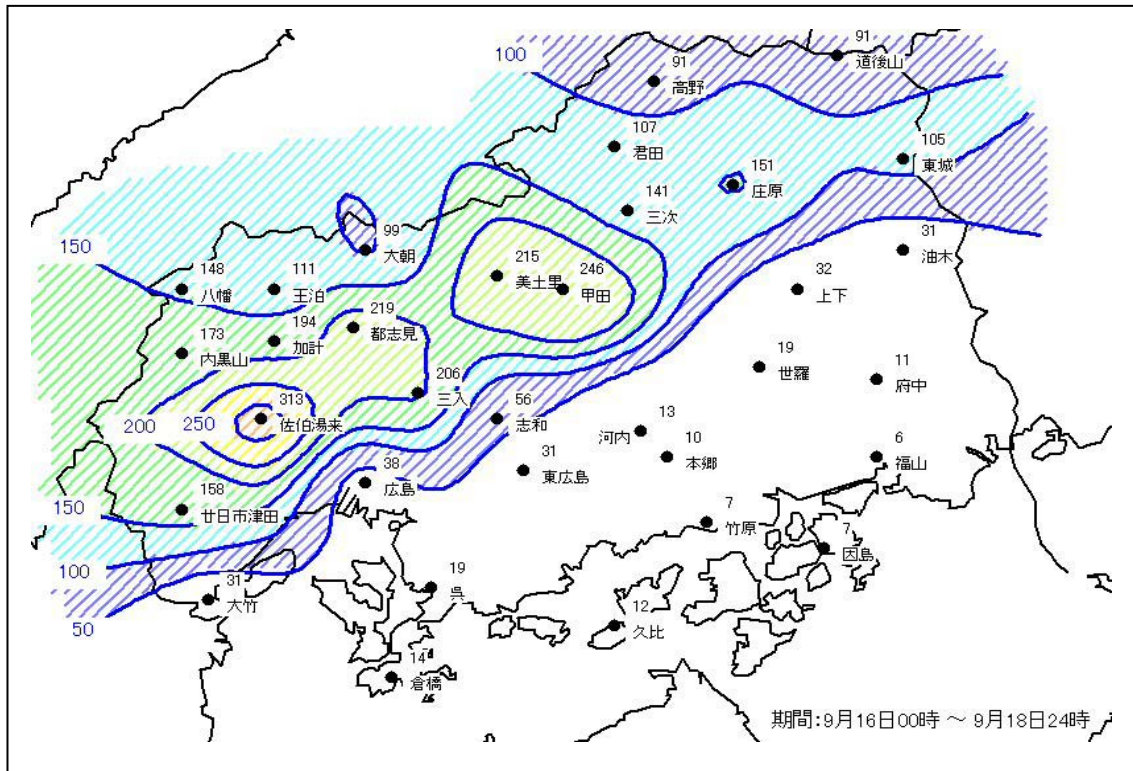
広島県では、17 日夜から 18 日明け方にかけて、台風の暴風域に入り、南よりの非常に強い風が吹いた。



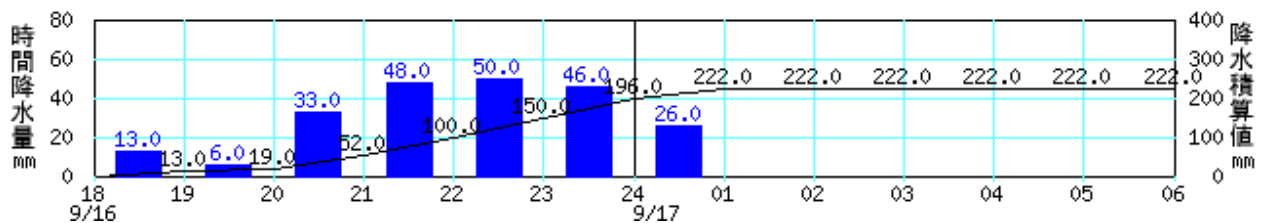
平成 18 年台風第 13 号の経路図



9月16日21時（日本時間）の地上天気図（左）と気象衛星赤外画像（右）



9月16日00時から18日24時までの総降水量図



佐伯湯来（広島市佐伯区）の時間降水量と積算値の時系列図（16日18時から17日06時）

3 現地調査

3 - 1 広島市佐伯区湯来町（上麦谷の土石流 調査実施日；平成 18 年 9 月 19 日）

（1）被害の状況（土石流害）

人的被害 なし

家屋被害 民家 1 戸、集会所の一部損壊

（2）現地の状況

佐伯区湯来町の国道 433 号線沿いの上麦谷集会所と隣接する民家の裏山が崩れ、土砂が流れ込んだ。裏山は法面保護のため高さ約 15m の法枠工が施され、その上には土石落下防止のフェンスが設置されていたが、土石流はこのフェンスをなぎ倒し、がけ下の集会所と民家を直撃した。この土石流により集会所と民家の 1 階の一部が損壊したが、住民は事前に避難して人的被害はなかった。土石流が発生した場所は集会所と民家の間に約 4 m の隔たがりがあり、土石流は家に直撃後、この間から道路へ流出した。

湯来町堂原でも非住家の裏山が崩れ、1 階の一部を損壊し隣接するお寺の境内に土砂が流入した。発生した時間は不明である。

3 - 2 広島市佐伯区湯来町（水内川左岸の国道の崩落 調査実施日；平成 18 年 9 月 19 日）

（1）被害の状況

国道 433 号線が約 200m 崩落、一部で小規模な道路崩落

（2）現地の状況

土砂災害が発生した民家から数キロ先の水内川左岸沿いの国道 433 号線が幅 12m、長さ約 200m に渡って丸ごと激流に削り取られ、全面通行止めとなった。また崩落現場すぐ下手にある橋の一部も崩落した。今回発生した崩落現場のすぐ下流では、今年の台風第 14 号で道路が崩落しており修復作業中であった。この付近の水内川沿いには集落があるが、浸水等による被害は見当たらなかった。崩落した現場は水内川が大きく蛇行した場所となっており、今回の大雨により川の流が急激に速まり、崩落した道路付近をえぐりつつあったと思われる。

なお、国道 433 号線の下伏付近でも今年の台風第 14 号の被害により修復中であった道路が数箇所崩落し、片側通行となっていた。この崩落による人的被害は報告されていない。

3 - 3 聞き取り調査

【広島市佐伯区役所区制振興課調整係】

< 16 日 21 時 25 分に広島市を対象に土砂災害警戒情報を県と共同で発表したことについて >

「十分理解している。今回湯来町では避難勧告が発表される前から一部の住民が自主避難を行なった。また、警戒本部の設置に伴い、消防職員、消防団が危険箇所の見回り等を行なっている。土砂災害警戒情報や見回りによる状況等を総合的に判断して 5 地区に対して避難勧告を発令した。」

【上麦谷集会所隣接する家の住人】

「当時上麦谷集会所に周辺の人が自主避難をしていたが、雨の激しさが増したため、この集会所では危ないと判断され避難場所を移動した。自分も 17 日午前 1 時前位に避難を行なった。その後土石流が発生したらしい。」

【国道 433 号線の道路崩落現場周辺の住人】

「国道 433 号線の道路崩落により、水防団の方が車ごと川に転落したが、ライフジャケットを着

用していたため、泳いで岸にたどり着き、一命をとりとめた。」

【避難状況等】

平成18年9月17日

00時25分頃 上麦谷集会所に自主避難していた人は別の避難場所へ

00時45分 佐伯区湯来町上麦谷地区に避難勧告(避難所：湯来福祉会館)

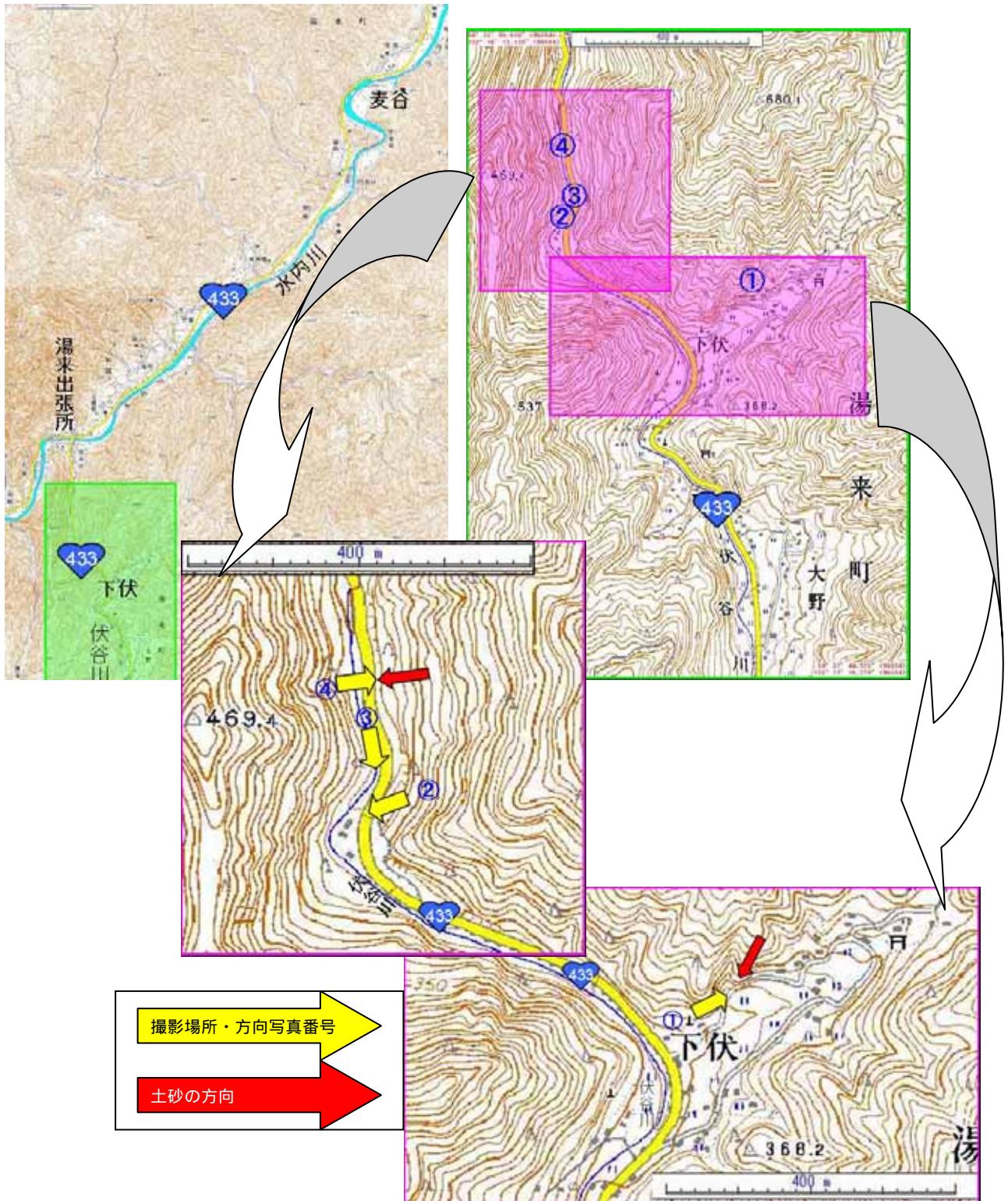
(01時前頃)土石流で被害にあった民家の人避難

00時59分 国道433号道路崩落の連絡を入手(佐伯区役所)

03時30分 佐伯区湯来町上麦谷地区で土石流発生連絡を入手(佐伯区役所)

07時50分 佐伯区湯来町上麦谷地区の避難勧告解除

3 - 4 地図及び写真
広島市佐伯区湯来町下伏地区





下伏地区土砂崩れ



国道433号の崩落
(伏谷川下流から撮影)

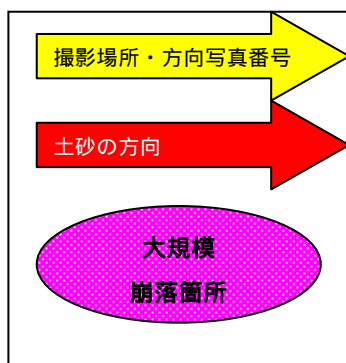


国道433号の崩落
(伏谷川上流から撮影)



国道433号脇の斜面からの土砂流出。

広島市佐伯区湯来町麦谷地区





上麦谷集会所裏の法面
(約15m斜面の上に張られていた土石落下フェンスを突破して土砂が流出)



民家(左)と集会所(右)を土砂が直撃。また、この間を土砂が駆け抜け、国道433号まで流出。



土砂流入により民家のブロック塀(約1m)を破壊。



水内川の増水により国道433号の崩落（湯来出張所側から撮影）。ガードレールより左側は、旧道。
【長さ約200m×幅約12m】



水内川の増水により国道433号の崩落（旧道より撮影）。国道の側溝しか残っていない。奥に見える住家の浸水はない。



水内川に架かる橋の流失（右側に国道433号のセンターライン）。



湯来町堂原（麦谷郵便局近く）
空き家裏の土砂崩れ。



4 広島地方気象台が執った措置

「広島・呉」地域の注・警報、土砂災害警戒情報発表状況

平成18年9月16日

- 05時21分 雷注意報
- 17時22分 大雨、雷、洪水注意報
- 17時53分 大雨、洪水警報」雷注意報
- 19時34分 大雨、雷、洪水注意報
- 21時09分 大雨、洪水警報」雷注意報
- 21時25分 広島市に土砂災害警戒情報を発表

平成18年9月17日

- 04時35分 土砂災害警戒情報解除
- 05時58分 雷、強風、波浪、洪水注意報
- 11時05分 雷、強風、波浪、高潮注意報
- 13時40分 暴風、波浪、高潮警報」雷注意報
- 16時45分 暴風、波浪、高潮警報」大雨、雷、洪水注意報。
- 23時53分 大雨、洪水、暴風、波浪、高潮警報」雷注意報

平成18年9月18日

- 02時05分 暴風、波浪警報」大雨、雷、洪水、高潮注意報
- 04時10分 暴風、波浪警報」高潮注意報
- 06時15分 強風、波浪注意報
- 15時28分 注意報解除

謝意

この資料を作成するにあたっては、関係機関の方々、広島県、広島市、広島市佐伯区役所、佐伯区湯来町の住民の方々に御協力いただきました。ここに謝意を表します

この資料で使用した地図は、「国土地理院発行 25000 分の 1 地形図」より複製しました。
(承認番号：平 17 総複第 650 号)

本報告書の問い合わせ先
広島地方気象台防災業務課
T E L 082-223-3953